

演題名：糖尿病予備軍における各種健診マーカーの有用性について

氏名：加藤正彦

所属：四日市社会保険病院 検査部

【目的】平成 18 年度の厚生労働省「国民健康・栄養調査結果の概要」で糖尿病の該当者と予備群の数は 1,870 万人と推計された。そして、40 歳から 74 歳の中老年男性の 32.2%、女性の 31.5% が糖尿病有病者か予備群と推定される。つまり成人の 6 人に 1 人が糖尿病か予備軍なのである。

そのなかで、糖尿病予備軍は 740 万人と推計され、この予備軍を糖尿病にしないために、特定健診・保健指導が 2008 年 4 月から始まった。40 歳～74 歳までのすべての健康保険加入者・被扶養者に対して、メタボリックシンドローム(内蔵脂肪型肥満)予防のための新しい健診と保健指導が実施されている。

この健診の目的は、従来の早期発見・早期治療から、一歩進んで病気になる前の予防へと変わりますが、メタボリックシンドローム(内蔵脂肪型肥満)と呼んではいるものの、内臓脂肪の蓄積を防ぐことで結果的には糖尿病の一次予防を達成することと考えられる。

そこで、当院では特定健診の開始するに当たりいくつかの特定健診モデル事業を実施し各種健診マーカーを測定したのでその有用性を報告する。

【方法】当院の各特定健診モデル事業に同意が得られた受健者を対象に、それぞれ各種計測、血液検査、生活指導、栄養指導、運動指導等をプログラムに従い実施した。

計測検査項目は身長、体重、BMI、腹囲、血圧、脈拍。

血液検査項目は血糖、グリコヘモグロビン A1c、総コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪、LDL-コレステロール、インスリン、各種動脈硬化指標。

【結果】1. BMI による篩い分け群によるモデル事業では各種マーカーの粗の結果は以下である。

	♂	♀
BMI	26.2±1.4	26.6±2.6
腹囲	91.2±4.7cm	85.9±6.8 cm
FBS	109.6±7.0	108.2±8.3 mg/dl
HbA1c	5.2 ±0.4	5.4±0.3 %
TC	212.9±47.1	211. ±33.6 mg/dl
TG	145.4± 89.2	91.4±28.3 mg/dl
HDL	52.3±15.8	68.4±21.9 mg/dl
LDL	131.1±46.7	124. ±42.8mg/dl
IRI	10.3±4.0	11.8±7.7 IU/L
HOMA-R	2.63 ± 0.04	3.06±0.19

2. 保健指導を強化したモデル群での検討を以下に示す。

	血糖	HbA1c	T-Cho	TG
1回目	106.09	5.39	204.23	141.56
3回目	101.38	5.25	195.89	131.51
差	-4.71	-0.15	-8.33	-10.05

	HDL-C	IRI	LDL-C	HOMAR
1回目	52.05	9.31	123.87	2.46
3回目	51.70	6.89	120.76	1.71
差	-0.34	-2.43	-3.11	-0.75

【まとめ】腹囲、TG、HDL、HOMA-R で性別差が見られた。

また、腹囲とインスリン抵抗指数(HOMA-R)との間には一定の関係が見られ特定健診対象者の篩い分けへの有用性が示唆された。

また、保健指導を強化したモデル群での検討ではいずれの項目でも指導前と指導3回目で明らかな差がみられ指導による改善効果の指標としての有用性が見いだされた。特定健診項目以外の指標の測定も今後特定健診を進める上で有用であると考えられる。